

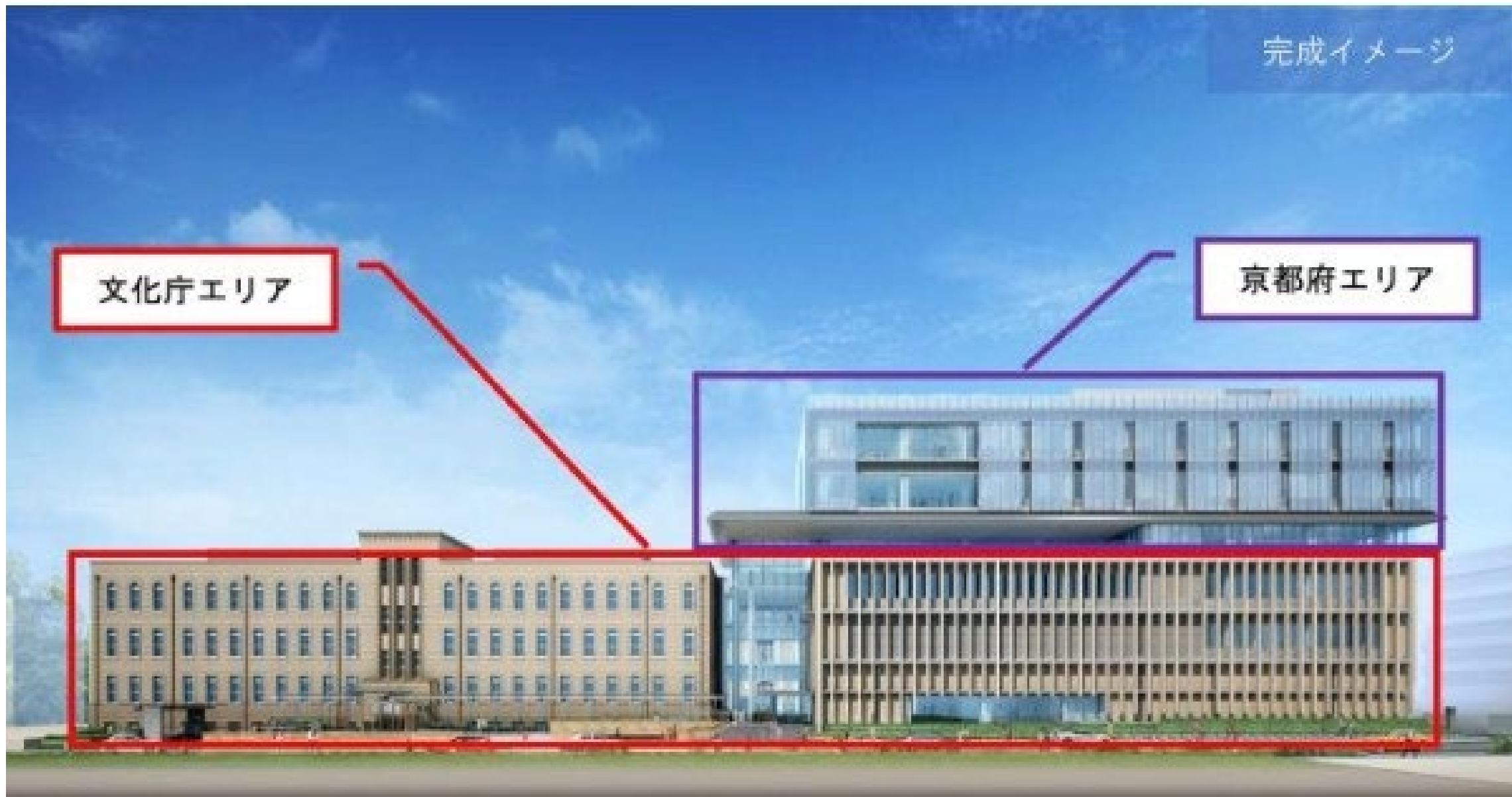
# 新行政棟・旧京都府警察本部（文化庁移転施設）

建築場所	京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
建物概要	構造形式：新行政棟（新築）鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 旧京都府警察本部本館（改修）鉄筋コンクリート造
階数	新行政棟（新築）地上6階・地下1階 旧京都府警察本部本館（改修）地上3階地下1階
延べ面積	新行政棟（新築）約9,280 m <sup>2</sup> 旧京都府警察本部本館（改修）約4,400 m <sup>2</sup>
環境指標	新行政棟BEE=1.5(当初) BEI=0.7(当初) CASBEE (A ★★★★★) ※最終の数値は変更の可能性があります。
竣工年月	令和4年12月予定
事業者	京都市
設計者	株式会社日本設計関西支社
施工者	主体工事：清水・岡野・公成特定建設工事共同企業体 電気設備工事：光星・富士・中島特定建設工事共同企業体 機械設備工事：中川・橋本・京栄特定建設工事共同企業体 昇降機設備工事：フジテック株式会社

完成イメージ

文化庁エリア

京都府エリア



旧京都府警察本部本館（左）の高さと新行政棟3階の軒レベル、デザインを揃え文化庁の独立性を表現

京都府HP：新行政棟・文化庁移転整備工事より

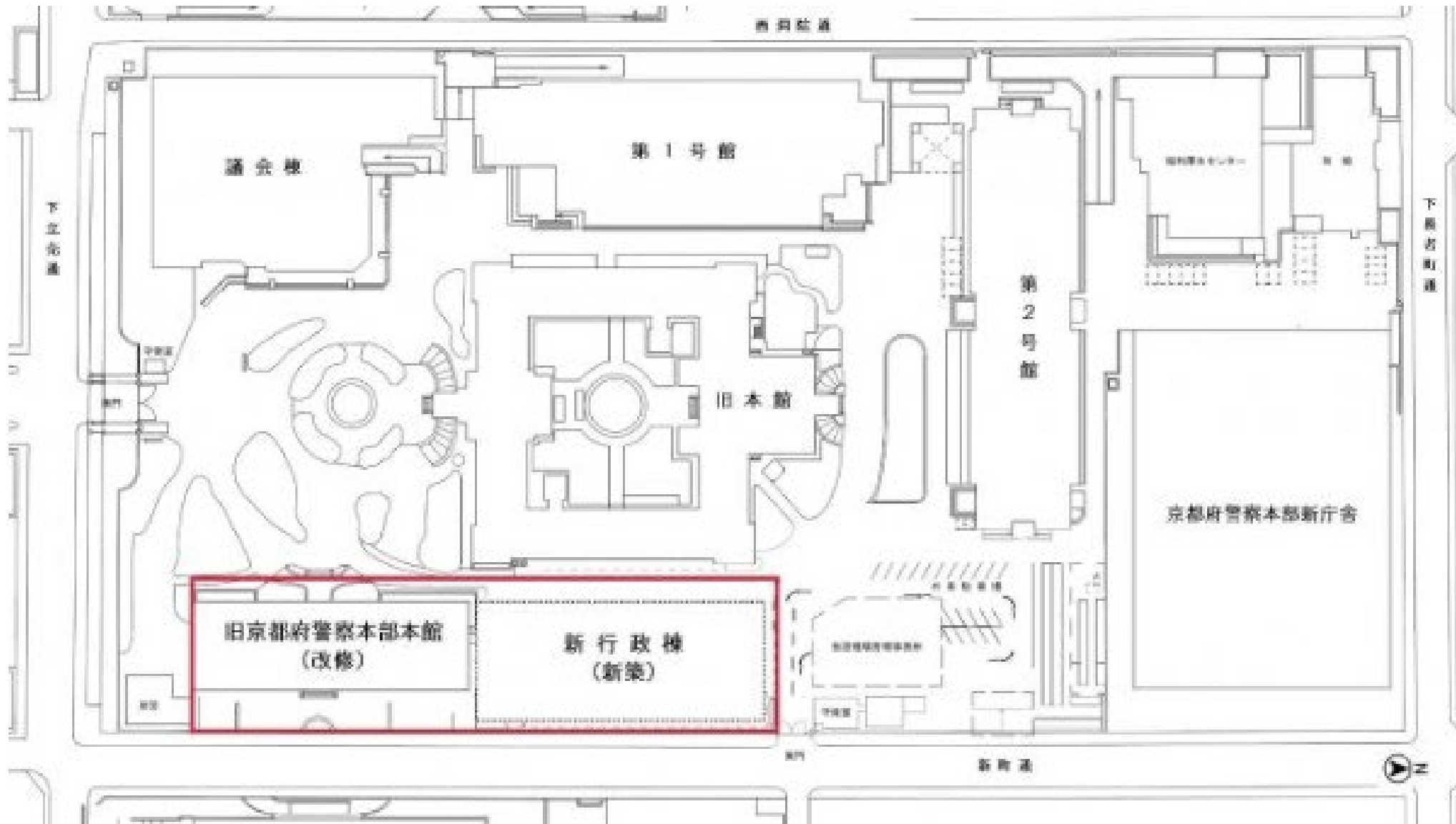


旧京都府警察本部本館は耐震化とともに歴史的建造物を保存・活用する観点で改修

京都府HP：新行政棟・文化庁移転整備工事より



新行政棟完成イメージ（新町通からのぞむ）



旧京都府警察本部本館の北隣りに文化庁と京都府の機能を併せ持つ新行政棟を建設



工事前の状況（令和2年6月17日撮影）



山留め工事（令和3年1月13日撮影）

京都府HP：新行政棟・文化庁移転整備工事より



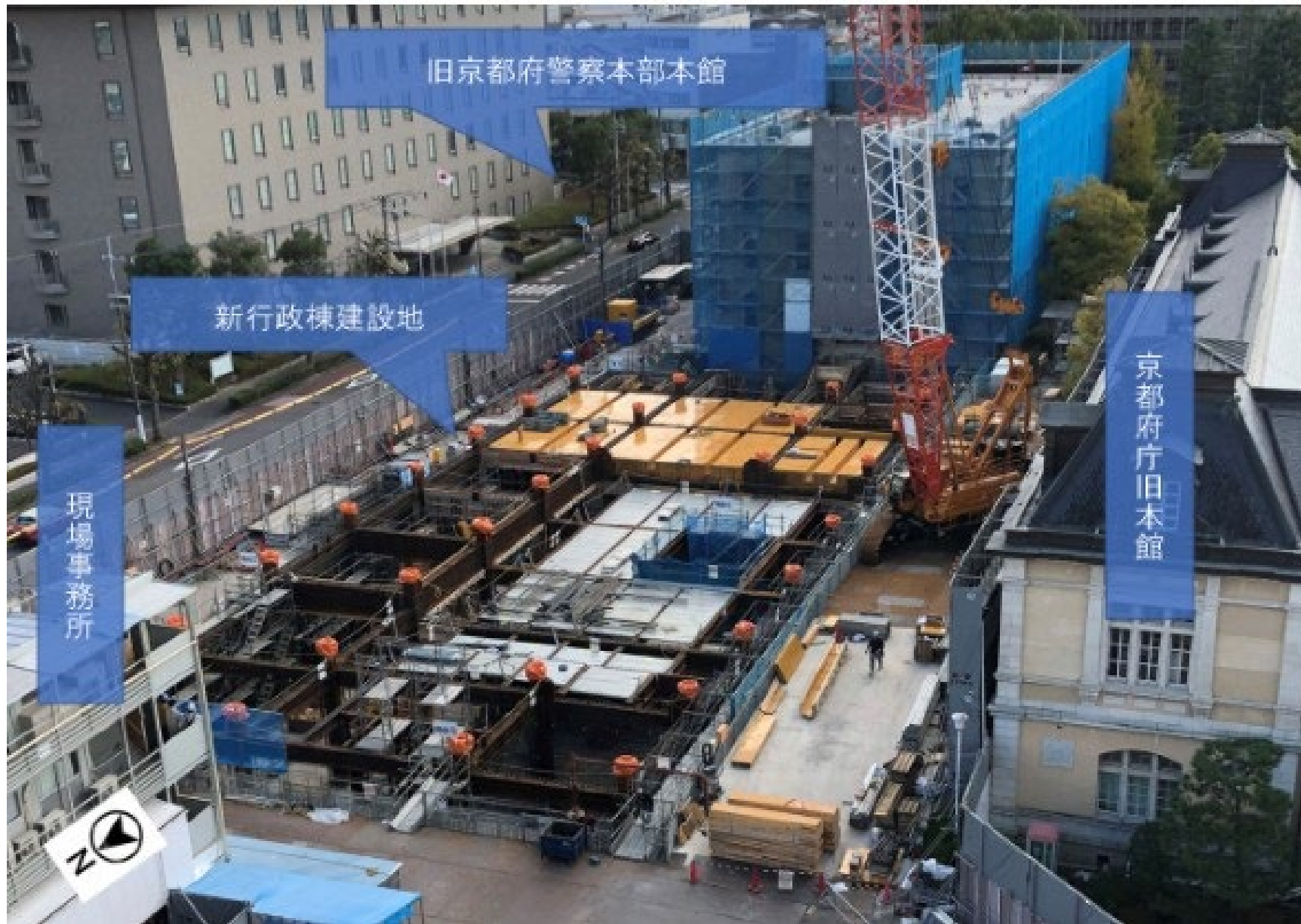
(令和3年10月7日撮影)

## 地下1階鉄骨建方



(令和3年10月13日撮影)





(令和3年11月17日撮影) 地下1階から1階床の配筋及び型枠工事

京都府HP：新行政棟・文化庁移転整備工事より



新行政棟建設地

旧京都府警察本部本館

現場事務所

京都府庁旧本館

3-1工区（新行政棟北東側）1~6階の鉄骨建方（令和4年2月28日撮影）

京都府HP：新行政棟・文化庁移転整備工事より

# 旧京都府警察本部本館の室内装飾



内装撤去後の様子



蛇腹と呼んでいる天井と壁の繋ぎ目を覆った装飾等について、保存方法などの検討を進めています。

京都府HP：新行政棟・文化庁移転整備工事より

# 旧京都府警察本部本館の東側玄関



京都府警察本部として使われていた  
ころの東側玄関です。

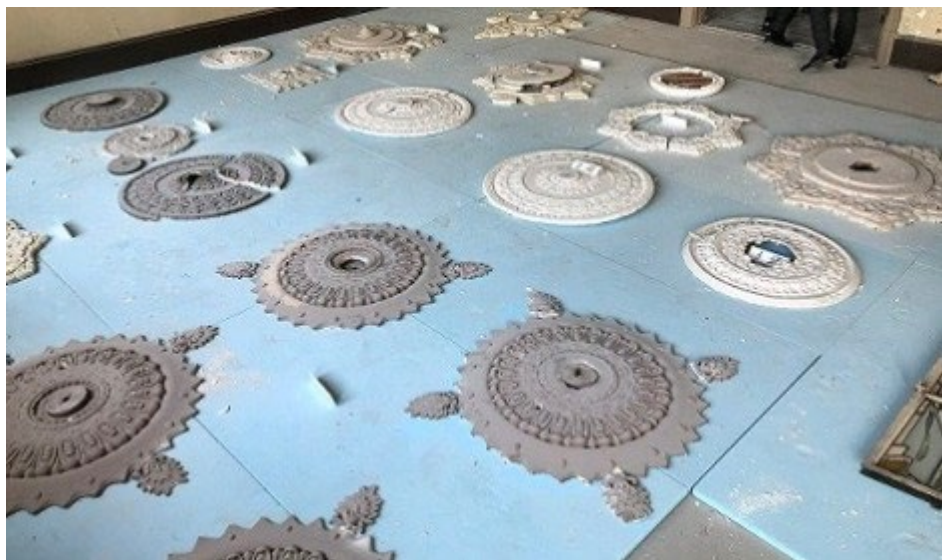


今回の改修で庇などが新設されます。



改修後のイメージ

# 旧京都府警察本部本館の内部意匠



生かし取りした天井中心飾り



今回現れた天井中心飾り



今回現れた天井中心飾り

# 旧京都府警察本部本館の外装洗浄テスト



建物西側にて、洗浄テストを行いました。



上部の窓周辺、装飾部分の洗浄テストの様子です。



西側玄関の洗浄テストの様子です。



こちらは西側から見た旧京都府警察本部本館の現在の様子です。



建設当時の西側玄関の様子です。主玄関は東西面ともロマネスク様式的な半円アーチとしています。このような建物内外に施された装飾が、現在に至るまで保存されています。



こちらは西側玄関の現在の様子です。アーチ状の縁には彫りの深い装飾が残されています。全体として、外壁の凹凸を排除して幾何学模様を志向するモダニズムの傾向を強く見せています。一方で、要所には彫りの深い装飾を荒々しい質感の材料によって配置するという手法を貫いており、庁舎・ビル建築の意匠における秀作といわれています。